

富山県石動中学校所蔵トキの剥製について

著者	南部 久男
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	23
ページ	167-168
発行年	2000-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=738

短 報

富山県石動中学校所蔵トキの剥製について*

南部 久男

富山市科学文化センター

Note on a stuffed specimen of Japanese crested ibis, *Nipponia nippon*, deposited in Isurugi junior high school, Toyama Prefecture

Hisao Nambu

トキ *Nipponia nippon* は、コウノトリ目トキ科に属し、1999年12月現在、日本産のトキは佐渡トキ保護センターに1羽が飼育されているに過ぎない。山階・中西(1983)によれば、トキの剥製は日本国内では1都1道7県21箇所で32個体(日本産17点、朝鮮産9点、不明6点)が収蔵されている。今回、富山県小矢部市の石動中学校にトキの剥製が所蔵されていたことが判明したので報告する。なお、富山県内で発見されているトキの剥製は、現在のところ、今回の剥製のみである。

剥製のデータ

トキの剥製は、高さ59.5cm、幅64cm、奥行き31.5cmの前面ガラス製の木製ケースに保管されていた(ケースの製作年は不明)。内側にはアルミホイルのようなもので内張がなされていた。この剥製は、同中学校2階ホールで時々展示されていた。剥製は木製の黒い台に固定され、ラベルが貼りつけてあった。

1. 状態及び計測値

冠羽、背には生殖羽の灰色がわずかに残っていた。脚にはわずかに虫食いの穴がみられたが、羽の離脱等はみられず、保存状態は比較的良好であった(図1)。

<計測値>

嘴		16.2cm
翼長	左	38.2cm
	右	40.0cm
尾長		17.2cm
跗蹠	左	8.5cm
	右	8.3cm

2. ラベルに記載されていた産地等のデータ(図2)

産地 朝鮮

島津製作所標本部

剥製の台についていたラベルは島津製作所標本部とあり同標本部が剥製製作時につけたものと思われる。産地は、墨で「朝鮮」とあり、これは、同標本部が記入したものと思われる。島津製作所標本部は現在の京都科学標本株式会社の前身であり、1875年(明治8年)に創業し、1891年(明治24年)頃より標本が製作が開始され、1943年(昭和19年)に廃止となった(京都科学標本株式会社, 1978)。今回の剥製は廃止となった1943年(昭和19年)以前に製作されたと推測される。

墨で「*Nipponia nippon* (Temm) Temminck トキ」, 「昭26. 11. 24 石動町上野 荒木薬店殿寄贈」と記入してあるデータは(図2), 石動中学校側が記

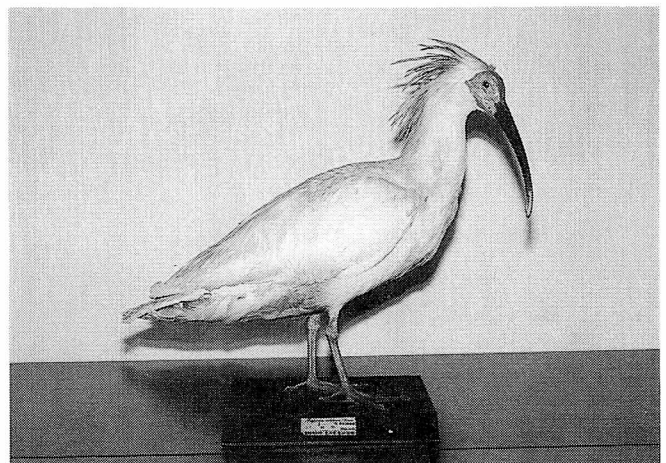


図1 石動中学校のトキの剥製



図2 剥製の台についていたラベル

入したものと思われる。石動町は現在の小矢部市である。1999年6月17日付け北日本新聞によれば、剥製の寄贈経緯は、終戦後まもなく薬局を経営していた荒木正芳氏が骨董品店で購入したものを昭和26年11月24日に石動中学校に寄贈されたものである。

なお、この剥製は1999年12月に西尾製作所（京都市）によりクリーニングされた。

謝 辞

剥製に関する貴重な情報を御教示いただいた小矢部市教育委員会、石動中学校校長正来瑞法氏、北日本新

聞論説委員中島利明氏、北日本新聞小矢部支社長織田浩之氏、文献を御教示いただいた榊西尾製作所、剥製の計測についてご教示いただいた穴田哲氏に厚くお礼申し上げます。

参考文献

京都科学標本株式会社, 1978. 当社の前史. 京都科学標本30年のあゆみ. pp.10-14.

山階芳麿・中西悟堂, 1983. IX トキ標本一覧 pp.284-285. トキ *Nipponia nippon* 黄昏にきえた飛翔の詩. 教育社. 東京.